



希望ある未来へ
地域と歩む
北海道財務局

道南経済レポート

VOL.127



令和7年8月発表

財務省函館財務事務所

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/>

— 目 次 —

	ページ
道 南 経 済 の 概 況	1
1. 個 人 消 費	2
2. 観 光	5
3. 住 宅 建 設	6
4. 公 共 事 業	7
5. 生 産 活 動	8
6. 雇 用 情 勢	9
7. 金 融	10
8. 企 業 倒 産	11
ヒアリング先からのコメント	12

《利用上の注意》

- ・ 単位未満は四捨五入しているため、合計と内訳は一致しない場合があります。
- ・ 符号の用法は次のとおりです。
「p」～速報値 「r」～改定値 「－」～該当数値なし

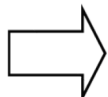
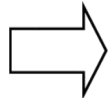
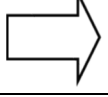
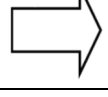
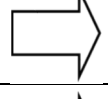
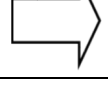
【道南（渡島・檜山）経済の概況（令和 7 年 4～6 月期）】

生産活動は横ばいの状況にある。住宅建設は一進一退の状況にある。
一方、雇用情勢は緩やかに持ち直しつつあるほか、個人消費は持ち直しつつある。

また、観光は回復している。

このように、管内経済は持ち直している。

《道南経済レポート判断の推移》

項 目	前回(令和 7 年 5 月発表)	今回(令和 7 年 8 月発表)	前回判断との比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	
個人消費	持ち直しつつある	持ち直しつつある	
観 光	回復している	回復している	
住宅建設	一進一退の状況にある	一進一退の状況にある	
公共事業	前払金保証請負金額は前年を上回る	前払金保証請負金額は前年を上回る	
生産活動	横ばいの状況にある	横ばいの状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	

1. 個人消費～持ち直しつつある

(1) 主要小売店売上高

大型小売店の売上高は、天候不順や物価上昇による節約志向により衣料品が減少したことなどから、前年を下回っている。

食料品スーパーの売上高は、米に加えて、即食簡便な弁当や総菜などが好調であったことから、前年を上回っている。

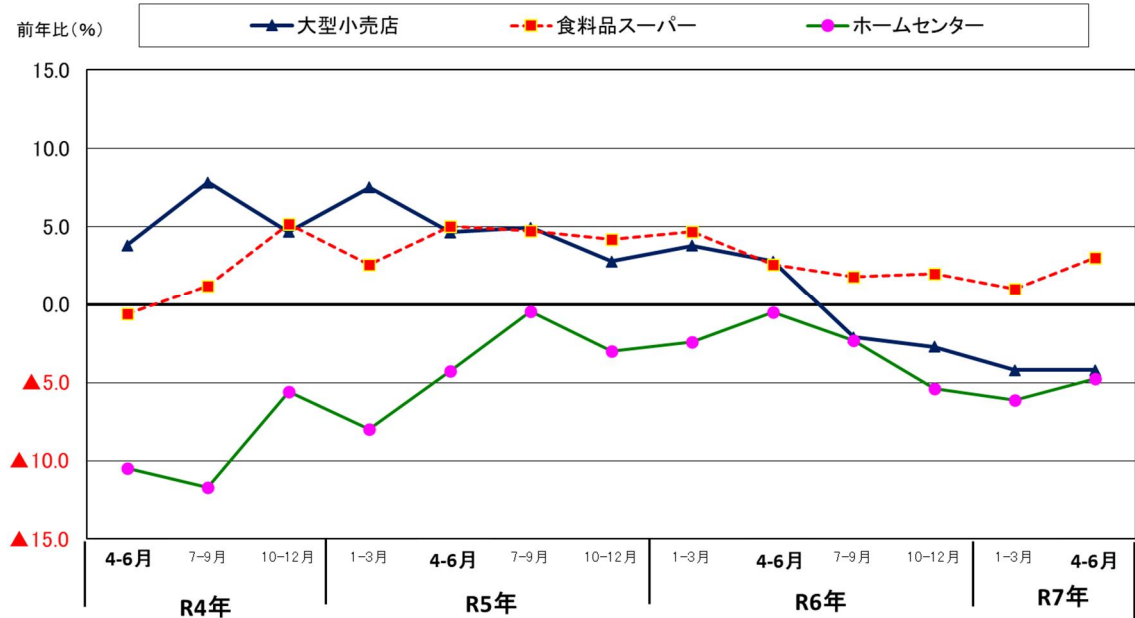
ホームセンターの売上高は、天候不順により空調・季節家電や園芸用品が不調であったことから、前年を下回っている。

家電販売は、エアコンの売上が前年の反動減などにより減少したことから、全体として弱い動きがみられる。

(2) 乗用車販売

乗用車販売(新車登録届出台数)は、認証不正の影響が緩和しつつあることから、前年を上回っている。

主要小売店売上高



主要小売店売上高

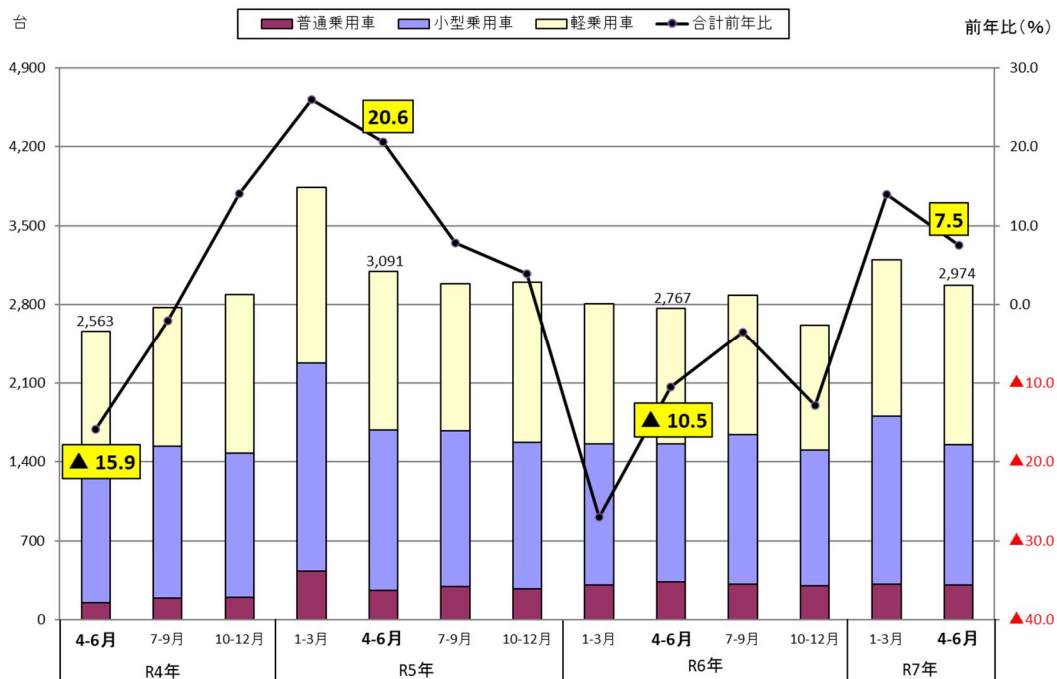
(単位:百万円、%)

		①大型小売店売上高		②食料品スーパー売上高		③ホームセンター売上高	
			前年比		前年比		前年比
R4	年	17,231	3.7	70,102	1.6	10,986	▲ 9.0
5	年	18,069	4.9	73,014	4.2	10,574	▲ 3.7
6	年	18,119	0.3	75,028	2.8	10,289	▲ 2.7
R6.	4～6	4,312	2.8	18,233	2.6	2,899	▲ 0.5
	7～9	4,340	▲ 2.1	18,726	1.8	2,630	▲ 2.3
	10～12	5,003	▲ 2.7	19,764	2.0	2,752	▲ 5.4
7.	1～3	4,275	▲ 4.2	18,484	1.0	1,886	▲ 6.1
	4～6	4,131	▲ 4.2	18,782	3.0	2,761	▲ 4.8
R7.	1	1,459	▲ 3.3	6,219	▲ 0.1	618	▲ 6.0
	2	1,312	▲ 7.6	6,015	1.5	550	▲ 7.8
	3	1,505	▲ 2.1	6,250	1.5	718	▲ 4.8
	4	1,291	▲ 7.3	6,278	2.1	854	▲ 12.4
	5	1,361	▲ 2.8	6,226	3.6	994	▲ 0.5
	6	1,479	▲ 2.7	6,278	3.3	913	▲ 1.4

資料: 函館財務事務所

※管内主要小売店 9 社。

乗用車販売



新車登録届出台数(乗用車)

(単位: 台、%)

		合計		普通乗用車		小型乗用車		軽乗用車	
			前年比		前年比		前年比		前年比
R4	年	11,273	▲ 8.4	764	▲26.0	5,170	▲ 5.9	5,339	▲ 7.7
5	年	12,921	14.6	1,262	65.2	5,944	15.0	5,715	7.0
6	年	11,068	▲14.3	1,265	0.2	5,000	▲15.9	4,803	▲16.0
R6.	4~6	2,767	▲10.5	337	28.6	1,220	▲14.2	1,210	▲14.0
	7~9	2,881	▲ 3.5	318	7.4	1,325	▲ 4.1	1,238	▲ 5.5
	10~12	2,615	▲12.9	304	10.9	1,202	▲ 7.1	1,109	▲22.7
7.	1~3	3,199	14.0	314	2.6	1,487	18.7	1,398	12.2
	4~6	2,974	7.5	309	▲ 8.3	1,245	2.0	1,420	17.4
R7.	1	917	16.1	94	▲16.1	434	21.6	389	21.2
	2	964	17.8	87	22.5	465	23.3	412	11.4
	3	1,318	10.1	133	8.1	588	13.3	597	7.6
	4	932	20.9	107	7.0	404	19.2	421	26.8
	5	874	▲ 2.9	98	▲17.6	349	▲10.7	427	9.5
	6	1,168	6.6	104	▲11.9	492	0.4	572	17.2

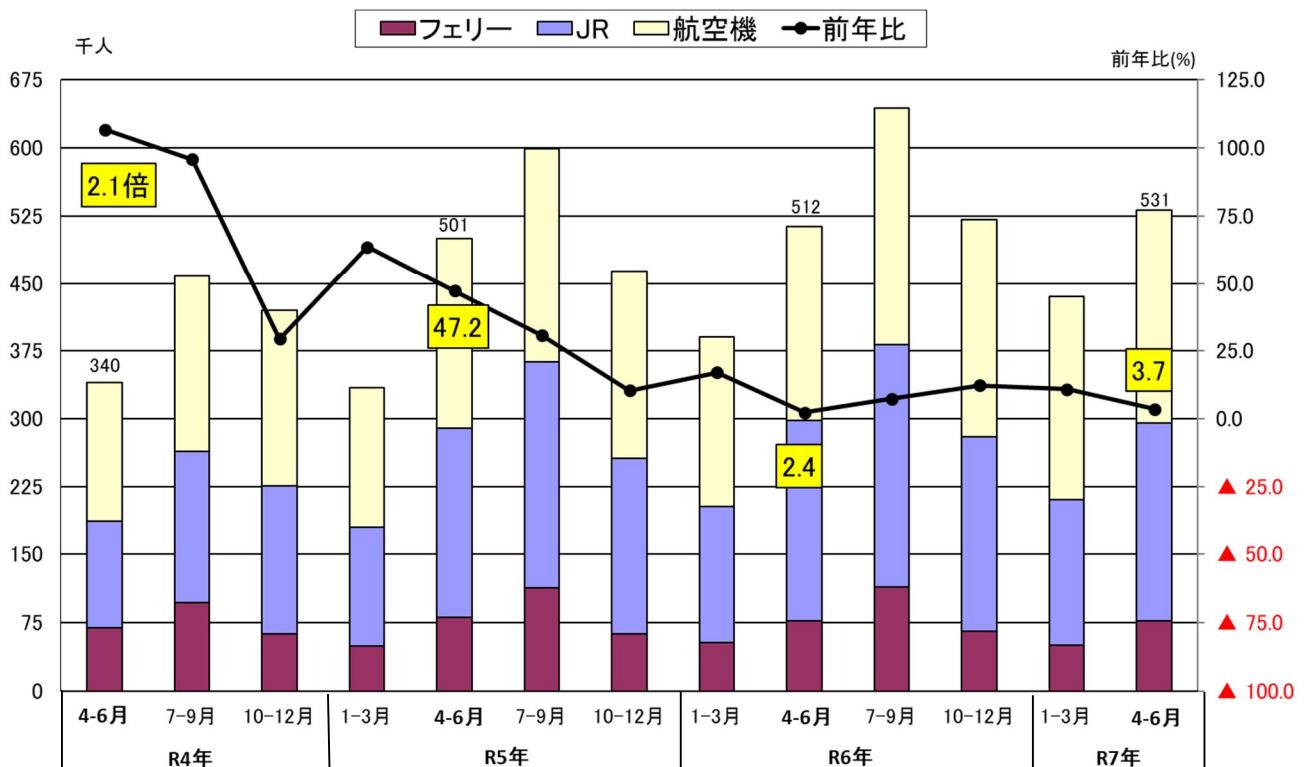
資料: 日本自動車販売協会連合会函館支部、全国軽自動車協会連合会函館事務所

2. 観光～回復している

函館圏の入込客数※1、主要宿泊施設宿泊者数及び主要観光施設利用者数は、観光需要が好調となっていることから、回復している。

※1: フェリー(青森→函館便)、JR(新青森→新函館北斗)、航空機(函館空港着便)利用者数を、「函館圏の入込客数」と表現した。

入込客数



(単位:千人、%)																			
	函館圏の入込客数														主要宿泊施設 宿泊者数		主要観光施設 利用者数※3		
	合計		フェリー 青森⇒ 函館		JR (津軽海峡線)		航空機※2												
	前年比	前年比	前年比	前年比	合計	前年比	道内	前年比	道外	前年比	海外	前年比	前年比						
R4年度	1,552	67.4	278	34.8	580	75.2	695	78.0	91	55.0	604	82.1	-	0.0	1,258	69.5	1,864	2.5倍	
5年度	1,954	25.9	309	11.1	804	38.6	842	21.1	102	12.9	689	14.1	50	皆増	1,504	19.6	2,654	42.4	
6年度	2,112	8.1	305	▲ 1.2	865	7.6	942	11.9	120	17.4	742	7.7	80	58.4	1,702	13.2	3,448	29.9	
R6.	4～6	512	2.4	77	▲ 4.7	221	5.2	215	2.2	29	7.1	166	▲ 8.2	20	7.9倍	407	12.8	830	23.8
	7～9	644	7.5	114	0.7	268	7.2	262	11.2	33	16.2	206	5.4	22	2.0倍	508	12.4	1,084	32.8
	10～12	521	12.4	65	4.5	215	10.9	241	16.2	31	17.7	192	14.1	19	39.6	421	7.8	753	26.3
7.	1～3	434	11.0	50	▲ 6.6	161	7.3	224	18.9	28	31.8	178	23.4	18	▲ 20.7	366	21.8	781	36.8
	4～6	531	3.7	77	0.5	218	▲ 1.4	236	10.0	31	8.5	187	12.7	18	▲ 10.0	407	0.0	836	0.7
R7.	1	143	20.4	16	▲ 2.0	52	13.0	75	32.5	9	54.1	59	35.4	7	▲ 1.6	129	39.1	270	74.2
	2	135	3.0	13	▲ 17.9	53	1.9	69	9.2	8	17.1	55	14.1	5	▲ 29.1	114	15.9	233	18.4
	3	157	10.5	21	▲ 1.6	56	7.7	80	16.5	11	28.1	63	22.0	6	▲ 30.1	124	12.5	278	26.9
	4	161	3.6	24	▲ 5.9	63	1.6	74	8.9	10	11.6	59	11.2	5	▲ 14.0	129	1.4	288	8.1
	5	182	5.5	28	3.1	75	1.4	80	10.6	11	12.9	63	13.2	6	▲ 15.3	141	1.8	297	▲ 1.5
	6	188	2.1	25	4.5	80	▲ 5.9	83	10.4	10	1.7	65	13.5	7	▲ 1.7	137	▲ 2.9	250	▲ 4.3

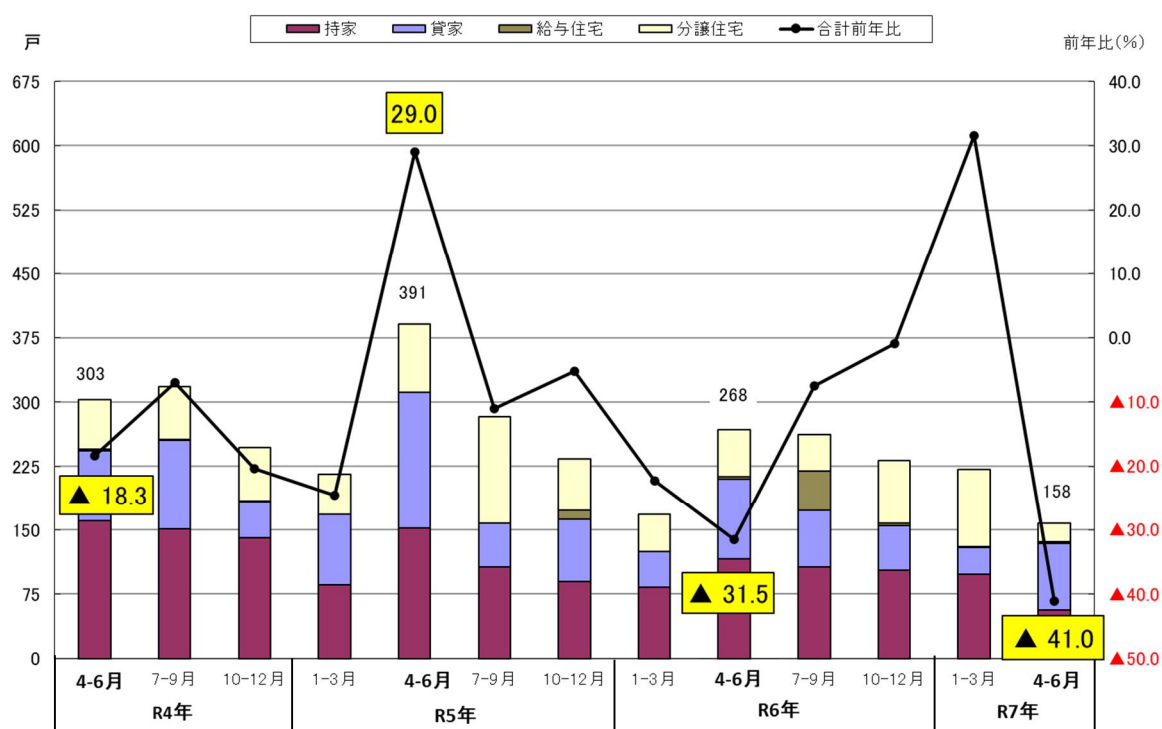
※2: 航空機の道内線は奥尻線を除く。

※3: 主要観光施設は、函館山ロープウェイ・箱館奉行所・五稜郭タワーの利用者数を集計。

3. 住宅建設～一進一退の状況にある

新設住宅着工戸数(函館市、北斗市)をみると、持家、貸家及び分譲住宅はいずれも前年を下回っており、一進一退の状況にある。

新設住宅着工戸数（函館市、北斗市）



新設住宅着工戸数

(単位：戸、%)

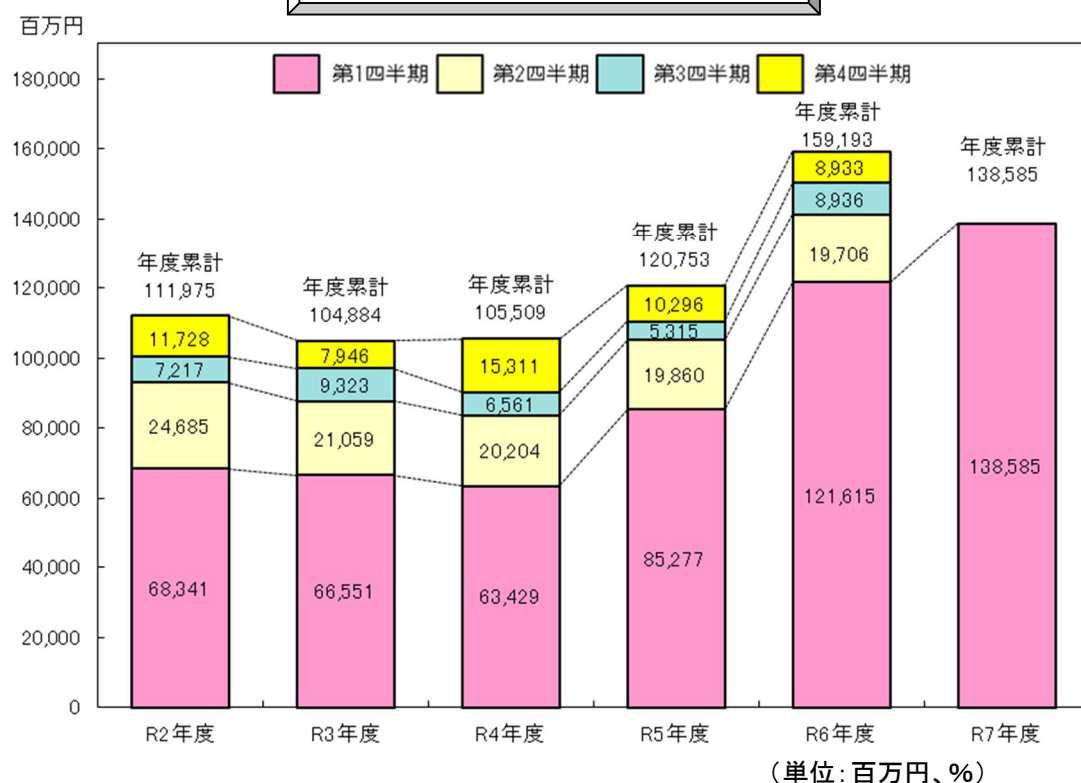
		新築計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
R4	年	1,154	▲13.9	561	▲13.8	320	▲30.0	4	2.0倍	269	16.5
5	年	1,124	▲2.6	435	▲22.5	365	14.1	10	2.5倍	314	16.7
6	年	930	▲17.3	409	▲6.0	254	▲30.4	52	5.2倍	215	▲31.5
R6	4～6	268	▲31.5	116	▲23.7	94	▲40.9	3	皆増	55	▲31.3
	7～9	262	▲7.4	107	0.0	66	29.4	46	皆増	43	▲65.6
	10～12	232	▲0.9	103	14.4	52	▲28.8	3	▲70.0	74	21.3
7	1～3	221	31.5	98	18.1	31	▲26.2	1	皆増	91	2.1倍
	4～6	158	▲41.0	56	▲51.7	78	▲17.0	2	▲33.3	22	▲60.0
R7	1	35	▲12.5	20	▲20.0	5	皆増	0	0.0	10	▲33.3
	2	65	▲14.5	18	▲21.7	0	皆減	0	0.0	47	3.6倍
	3	121	2.3倍	60	71.4	26	13.0倍	1	皆増	34	2.3倍
	4	66	▲24.1	13	▲64.9	48	45.5	0	0.0	5	▲70.6
	5	31	▲69.0	16	▲54.3	4	▲91.1	1	▲50.0	10	▲44.4
	6	61	▲24.7	27	▲38.6	26	62.5	1	0.0	7	▲65.0

資料：国土交通省

4. 公共事業～前払金保証請負金額は前年を上回る

公共工事を前払金保証請負金額(令和7年度第1四半期)でみると、北海道は前年を下回っているものの、国、市町及び独立行政法人等が前年を上回っていることから、全体では前年を上回っている。

公共工事前払金保証請負金額



		管内累計 (年度)		管内単月計	
			前年比		前年比
R4年度		105,509	0.6	—	—
5年度		120,753	14.4	—	—
6年度		159,193	31.8	—	—
R6.	4～6	121,615	42.6	121,615	42.6
	7～9	141,322	34.4	19,706	▲ 0.8
	10～12	150,260	36.0	8,936	68.1
7	1～3	159,193	31.8	8,933	▲ 13.2
	4～6	138,585	14.0	138,585	14.0
R7.	1	150,518	34.0	258	▲ 86.4
	2	151,433	34.3	915	2.1倍
	3	159,193	31.8	7,760	▲ 2.6
	4	88,447	34.7	88,447	34.7
	5	125,715	14.8	37,267	▲ 15.0
	6	138,585	14.0	12,869	6.3

資料: 北海道建設業信用保証(株)

5. 生産活動～横ばいの状況にある

電子部品は、自動車向けは底堅いものの、家電向けは減少している。

セメントは、道内及び海外向けの出荷は底堅いものの、道外向けの出荷は減少している。

生コンクリートは、官需は北海道新幹線の延伸工事向けの出荷を中心に増加しているものの、民需は動きが弱く減少している。

造船は、総じてみると安定した操業となっている。

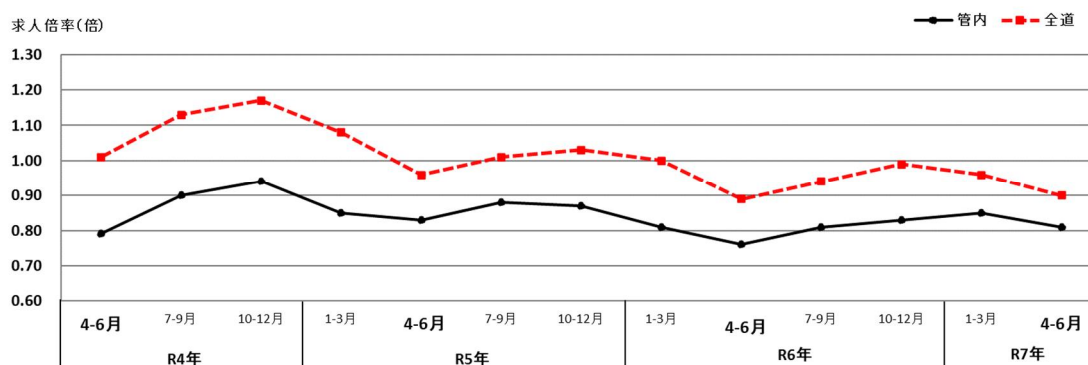
一般機械は、海外向けの需要は減少しているものの、国内向けの需要は堅調である。

珍味加工は、海水温上昇などの影響により国産のスルメイカ等が不漁で仕入価格が上昇する中、土産物店や物産展における需要は堅調なものの、食料品スーパーや通信販売を利用した需要は販売価格の上昇などから減少しており、全体では低調となっている。

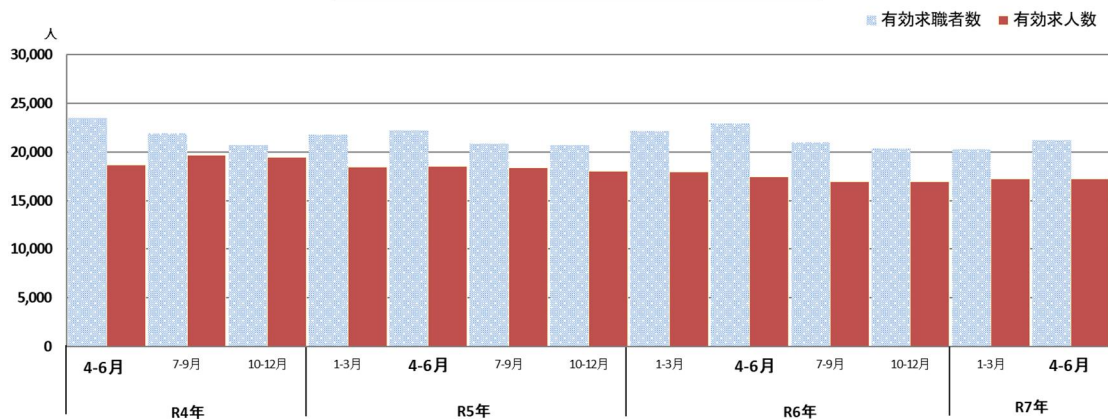
6. 雇用情勢～緩やかに持ち直しつつある

雇用情勢は、有効求人倍率(常用)の水準に大きな変化がみられないことから、緩やかに持ち直しつつある。

有効求人倍率(常用)



有効求職者数・有効求人数(常用)



労働力需給(常用)

(単位:人、%,倍、ポイント)

		有効求職者数		有効求人数		有効求人倍率		新規求職申込件数		新規求人数		新規求人倍率		事業主都合離職者数	
		前年比	前年差	前年比	前年差	前年比	前年差	前年比	前年差	前年比	前年差	前年比	前年差	前年比	前年差
R4	年度	87,888	▲ 2.2	76,156	▲ 13.8	0.87	0.13	17,380	▲ 3.5	26,972	▲ 11.6	1.55	0.21	2,231	▲ 14.9
5	年度	85,857	▲ 2.3	72,802	▲ 4.4	0.85	▲ 0.02	16,794	▲ 3.4	25,880	▲ 4.0	1.54	▲ 0.01	2,004	▲ 10.2
6	年度	84,470	▲ 1.6	68,499	▲ 5.9	0.81	▲ 0.04	16,104	▲ 4.1	24,297	▲ 6.1	1.51	▲ 0.03	1,860	▲ 7.2
R6.	4～6	22,890	3.0	17,421	▲ 5.7	0.76	▲ 0.07	4,589	1.4	6,051	▲ 8.5	1.32	▲ 0.14	513	▲ 14.4
	7～9	20,973	0.5	16,942	▲ 7.8	0.81	▲ 0.07	3,486	▲ 9.7	5,857	▲ 8.2	1.68	0.03	257	▲ 17.6
	10～12	20,333	▲ 1.7	16,921	▲ 6.1	0.83	▲ 0.04	3,734	1.1	5,910	▲ 2.8	1.58	▲ 0.07	544	5.0
7.	1～3	20,274	▲ 8.2	17,215	▲ 4.0	0.85	0.04	4,295	▲ 8.9	6,479	▲ 4.8	1.51	0.07	546	▲ 5.0
	4～6	21,197	▲ 7.4	17,192	▲ 1.3	0.81	0.05	4,471	▲ 2.6	5,933	▲ 2.0	1.33	0.01	523	1.9
R7.	1	6,769	▲ 4.1	5,257	▲ 6.3	0.78	▲ 0.02	1,522	▲ 2.6	2,115	▲ 19.7	1.39	▲ 0.30	244	1.2
	2	6,667	▲ 9.3	5,850	▲ 2.5	0.88	0.06	1,256	▲ 17.1	2,356	▲ 10.3	1.88	0.47	150	▲ 16.2
	3	6,838	▲ 11.0	6,108	▲ 3.3	0.89	0.07	1,517	▲ 7.3	2,008	▲ 1.4	1.32	0.08	152	▲ 1.9
	4	7,065	▲ 7.9	5,913	▲ 0.4	0.84	0.07	1,866	▲ 0.6	2,169	▲ 8.6	1.16	▲ 0.10	248	2.9
	5	7,156	▲ 7.3	5,676	▲ 2.7	0.79	0.03	1,380	▲ 7.5	1,898	3.5	1.38	0.15	144	▲ 2.0
	6	6,976	▲ 7.0	5,603	▲ 0.8	0.80	0.05	1,225	0.4	1,866	1.2	1.52	0.01	131	4.8

※常用は新規卒者を除きパートタイムを含む。
事業主都合離職者数は新規卒者及びパートタイムを除く。

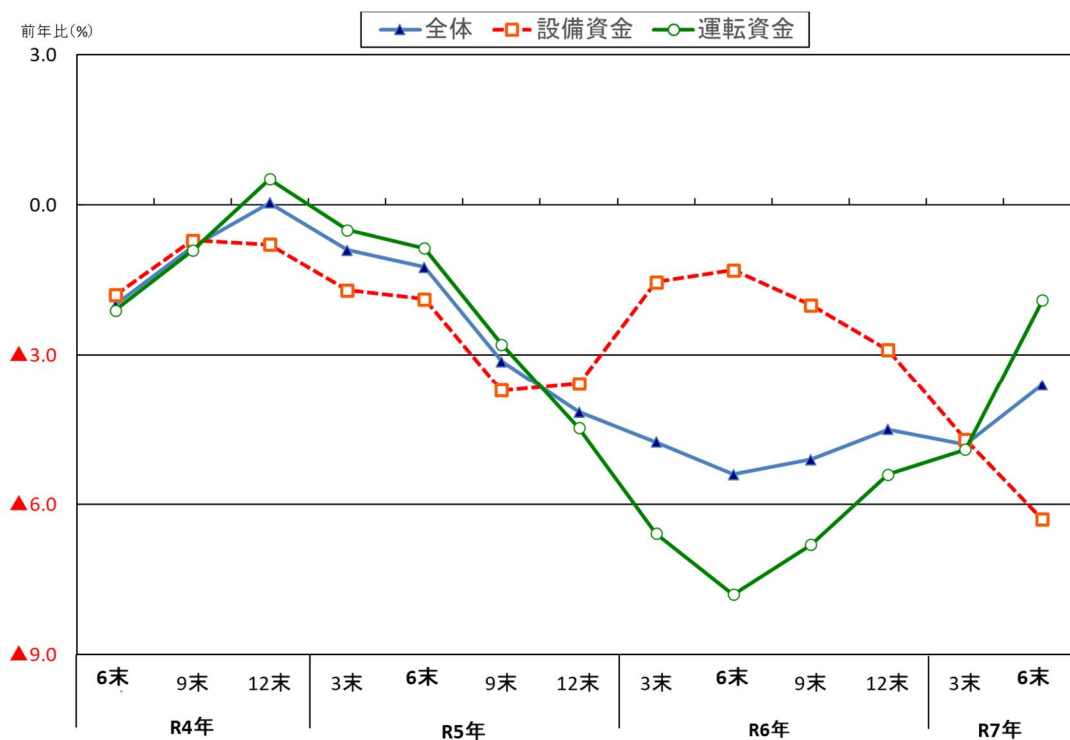
資料: 函館公共職業安定所

7. 金融～事業者向け貸出金残高は前年を下回る

事業者向けの貸出金残高をみると、設備資金及び運転資金は、いずれも前年を下回っている。

なお、個人向けは前年を上回り、地公体向けは前年を下回っている。

事業者向け貸出金月末残高



貸出金残高

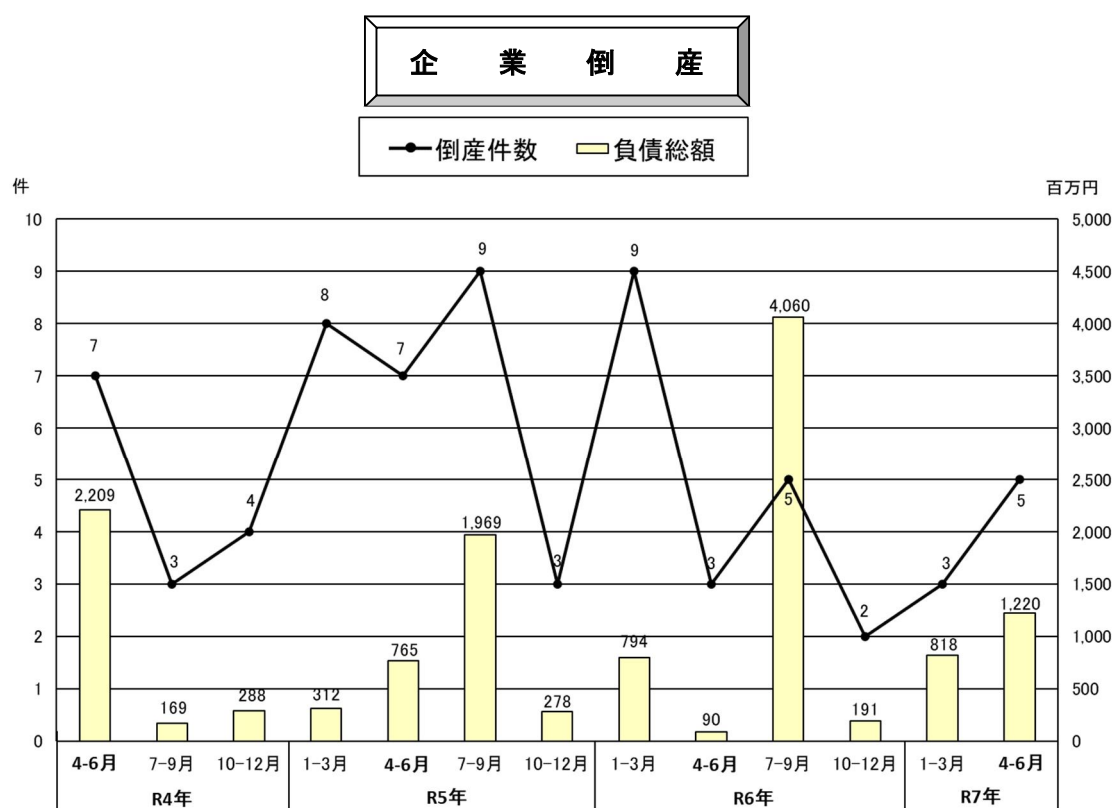
(単位: 億円、%)

		貸出金合計		事業者						個人		地公体		預金残高	
			前年比		前年比	設備	前年比	運転	前年比		前年比		前年比		前年比
R5.	3	10,083	0.0	5,314	▲0.9	1,928	▲1.7	3,385	▲0.5	3,314	2.7	1,455	▲2.3	17,812	1.4
	6.	9,883	▲2.0	5,061	▲4.8	1,899	▲1.5	3,163	▲6.6	3,365	1.5	1,457	0.1	18,109	1.7
	7.	9,556	▲3.3	4,817	▲4.8	1,810	▲4.7	3,007	▲4.9	3,399	1.0	1,341	▲8.0	18,194	0.5
R7.	1	9,691	▲2.4	4,922	▲4.4	1,821	▲3.5	3,101	▲5.0	3,390	1.1	1,379	▲3.2	18,283	1.3
	2	9,656	▲2.5	4,881	▲4.7	1,826	▲3.9	3,055	▲5.2	3,391	1.2	1,384	▲3.3	18,255	1.2
	3	9,556	▲3.3	4,817	▲4.8	1,810	▲4.7	3,007	▲4.9	3,399	1.0	1,341	▲8.0	18,194	0.5
	4	9,457	▲2.7	4,737	▲4.5	1,799	▲6.7	2,938	▲3.1	3,399	1.0	1,322	▲5.1	18,503	0.6
	5	9,519	▲1.9	4,738	▲3.0	1,796	▲4.6	2,942	▲2.0	3,400	0.9	1,381	▲4.5	18,504	1.5
	6	9,495	▲2.3	4,720	▲3.6	1,775	▲6.3	2,945	▲1.9	3,396	0.7	1,379	▲4.6	18,594	▲0.2

資料: 函館財務事務所

8. 企業倒産～前年を上回る

企業倒産(負債総額1千万円以上)をみると、件数、負債総額及び1件当たり負債額はいずれも前年を上回っている。



企業倒産

(単位：件、百万円、%)

		件数		負債総額		1件当たり負債額	
			前年比		前年比		前年比
R4	年	18	80.0	4,113	57.4	229	▲12.3
5	年	27	50.0	3,324	▲19.2	123	▲46.3
6	年	19	▲29.6	5,135	54.5	270	2.2倍
R6.	4～6	3	▲57.1	90	▲88.2	30	▲72.5
	7～9	5	▲44.4	4,060	2.1倍	812	3.7倍
	10～12	2	▲33.3	191	▲31.3	96	3.2
7.	1～3	3	▲66.7	818	3.0	273	3.1倍
	4～6	5	66.7	1,220	13.6倍	244	8.1倍
R7.	1	1	0.0	35	▲30.0	35	▲30.0
	2	2	▲60.0	783	78.8	392	4.5倍
	3	0	皆減	0	皆減	0	皆減
	4	1	0.0	140	4.7倍	140	4.7倍
	5	3	皆増	1,050	皆増	350	皆増
	6	1	▲50.0	30	▲50.0	30	0.0

資料：(株)東京商工リサーチ函館支店

ヒアリング先からのコメント

【個人消費】

○買替サイクルの短い衣料品（肌着）は、比較的安価な商品が選ばれる傾向にある。
（大型小売店）

○米は高くても購入されるほか、まとめ買いや買い回りの動きが継続。また、即食や調理が手軽な商品への需要が高まっている。
（食料品スーパー）

○4月の気温が低く、エアコンや扇風機といった空調関係や、レジャー用品が低調。
（ホームセンター）

○パソコンの買替需要がみられるほか、生活必需品となっている商品は多少高価格でも購入される動きがみられる。
（家電量販店）

○希望車種の受注再開まで新車購入を見送る動きが多く、今後も暫くは需要が先細ることはないと思われる。
（自動車販売店）

【観光】

○今期全体では宿泊者数は前年並み。函館を舞台とした映画の効果の反動減があると思われたが、宿泊者数はそこまで減らなかった。
（宿泊施設）

○台湾からの直行便数が減少したにもかかわらず、旅行客数は前年並み。他経路を利用して函館を訪れる観光客が増加したと思われる。
（観光施設）

【生産活動】

○世界的なイカの不漁により、各国取り合いの状況で原材料価格が上昇し、円安基調も加わり、原材料高は続いている。
（食料品製造）

「道南経済レポート」や、北海道財務局の活動についての情報は、各種公式 SNS でもご覧いただけます。

公式 X(旧 Twitter)

https://x.com/mof_hokkaido



公式 Facebook

<https://www.facebook.com/Hokkaido.Local.Finance.Bureau/>

公式 Instagram

https://www.instagram.com/mof_lfb_hk



【 編 集 後 記 】

「道南経済レポート」の発刊にあたり、各種計数等の提供や業況の調査など、貴重な時間を割いてご協力いただきました関係機関の皆様に対して厚くお礼申し上げます。

今後も地域の景況・実情を分析し、情報発信に努めて参りますが、当レポートについてのご意見、ご感想などございましたら、下記までご連絡下さい。

(連 絡 先)

財務省 函館財務事務所 財務課

函館市美原 3 丁目 4 番 4 号 (函館第 2 地方合同庁舎)

Tel : 0138 - 47 - 8445

ホームページ :

<https://lfb.mof.go.jp/hokkaido/hakodate/>

